

都市部住民と連携した農業体験・交流による農地保全活動

～ 協定集落名 ^{みな}源 ^{かみ}上 ～

1 地区の概要

辰野町の西部、横川溪谷の一番奥に位置する当集落は、高齢化率が70%を越し、集落戸数は15戸であります。

横川川の上流に位置し訪れる人も多いことから、景観保全を主目的に取り組むことにしたが、労力不足であることから、集落で営農組合を組織し、個人農家の管理が行き届かない農地については、都市部住民に対してボランティアを呼びかける中で、農作物の生産や景観作物の作付け等による農地保全活動に取り組んでいます。



2 協定締結の経緯

町から本事業の話があった時、遊休農地が増加している現状の中で、先人の文化・伝統を守ろうと、地区の総代、三役等が集まり、話し合いをしました。総会を開き、みんなで集まって話し合いをし、その結果をもって、役場に相談しました。

遊休農地を個人で引き受けるよりも組織の方が何かとカバーできるので、町が進めるグリーンブリッジ事業に後援をされる形の中で、集落営農組合を組織し、協定を締結しました。

3 協定の概要

地域指定	特定農山村、振興山村				
協定参加者数	農業者 11人	生産組織 織	水利組合 給	その他 1	計 12
協定面積	田 1.4 ha	畑	草地	採草放牧地	計 1.4 ha
作目	水稻、パレイシヨ				
交付金額	個人配分分				29.8%
30万円	共同取組活動分	役員報酬 営農組合活動事業 (都市農村交流・農業体験事業、農用地に関する事項、会議費、事務費等)			16.5%
	70.2%				53.7%

4 取り組みの内容

“ふるさと大楽校 農楽部「源上キャンパス」”として位置付け、年5回の農作業(農業体験)の実施。

第1回 入楽式・種まき (6月9日)

第2回 草取り・土手草刈り及び地域散策(7月7日)

第3回 草取り・交流キャンプ(7月27日) 交流キャンプは実費

第4回 秋野菜の種まき (9月21日)

第5回 そば打ち体験・卒業式(10月20日)

栽培作物：サツマイモ・ジャガイモ・トウモロコシ・ハクサイ・ダイコン・そば等
(栽培作物は、楽生に配布)

活動写真(ふるさと大楽校)



5 取り組みによる効果

農家戸数15戸(全世帯)が高齢家族で、畑地は山林化しつつあり、水田も遊休、荒廃化が進みつつある地域で、遊休農地解消の啓発事業として町全体への効果が大きい。

年間5回の作業の食事については地域の女性グループによる食材の提供を受け、郷土食(山菜、漬物等)の継承が図られている。

営農組合の設立に併せ、集落外の人たちと交流することにより地域の活性化につながっている。

個の農業から地域農業へと移行しつつあり、交流により来訪者が1名定住された。

6 今後の課題、将来像

一年目は女性に負担が掛かる面もあったので、二年目からは来場者が自ら行動するようにしています。

「楽しみながらお茶代が稼げればいい。」という考えで、農産物を市場に出したが、思うような収益と成らなかった。

今後は、地場での消費と、都市部の特定の者との販路を確保するための活動を展開していきます。